

学んでみよう そこには 新しいあなたと まちキラリ



生涯学習だより

まなぶ君

vol.51

令和3年2月15日発行

編集・発行:

生涯学習だより編集部会



寒さとコロナウイルスを吹き飛ばせ! 駅伝・マラソン大会

P2

駅伝・マラソン大会、第8回全国小中学校リズムダンスふれあいコンクール

P3

地域と共に…学社融合事業(大島村公民館)

P4

平戸を知ろう!「平戸和蘭商館跡」

P5

2月は「生涯学習強調月間」です

P6

イベント情報、スポーツ情報、講座情報

P7

学びの達人

P8

家庭の日

第37回中部地区駅伝大会・第31回中部地区マラソン大会



今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら中止となった大会が多くなってしまいましたが、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、寒空の中で熱い戦いが行われた大会をご紹介します。



12月6日(日)、第37回中部地区駅伝大会・第31回中部地区マラソン大会(中部地区体育振興会主催)が開催されました。駅伝大会には、6チームが参加し、小学生から大人まで6区間タスキを繋ぎました。マラソン大会では、小中学生97名が元気いっぱい走り抜けました。

出場した選手達は沿道から温かい声援を受け、自らの記録に挑戦しました。今回は記録を大幅に更新したチームもあり、大いに盛り上がりました。

【優勝】 紐1・2チーム

【準優勝】 獅子・高越・春日チーム

【3位】 宝亀チーム

中止となった大会

- 平戸縦断駅伝大会、平戸市クラブ対抗駅伝フェスティバル大会
- 新春水仙ロードフェスティバル(大島)、南部地区駅伝大会
- 生月島縦断駅伝大会、田平町駅伝大会

※次年度の開催をご期待ください!



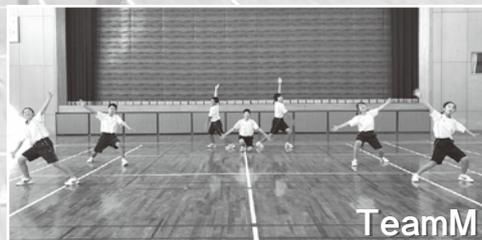
おめでとう! 第8回全国小中学校リズムダンスふれあいコンクール ～文部科学大臣賞受賞～大島中学校「Team大島22」



Team O



Team S



Team M

大島中学校は、平成26年度より、毎年全校生徒で全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクール規定曲部門に参加しており、これまで、優勝2回、第2位3回という成績を収めてきました。昨年度は初めて入賞を逃し、悔し涙を流しましたが、今年はその悔しさをバネに、見事3回目となる優勝を勝ち取りました。

今回、大会初となる映像での審査となり、全校生徒22名が3つのグループに分かれ、3年生のリーダーを中心に9月から練習を重ねてきました。その過程では、壁に当たることもありましたが、互いに意見を交流させ、理解しあいながら、この22名にしかできないダンスを創り上げることができました。

審査員の講評では、「各自が心と体を精一杯に使って表現をしていること」「3つのグループに分かれていても、それぞれの動きが響きあうようにつながっ

ていること」が高く評価されました。

この経験を通して生徒達は、互いのつながりだけでなく、仲間や周囲への感謝を強く実感することができました。3年生は1、2年生に向けて、「次は、大島中がまだ成し遂げていない連覇を目指してほしい。」と言葉をかけ、後輩たちは決意を新たにしています。次年度は、Team大島らしい笑顔いっぱいのダンスを、東京のステージで披露できることを願っています!



発表の瞬間

※文責 大島中学校

地域特集

大島村公民館

地域と共に…学社融合事業

大島村公民館では、地域学校支援ボランティアの協力により、児童・生徒が体験活動とおして、郷土愛の醸成と「生きる力」を育み、学校と地域の融合を図り、世代間交流を含め生涯学習による地域づくりを目的として“学社融合事業”に取り組んでいます。

この取り組みの背景には、地域と子どもたちが交流することで地域においても声掛けや見守り体制の

確保ができること、将来子どもたちが大島村を離れても大島の良さを忘れないで生きてもらいたい気持ちがあります。

少子・高齢化時代の中にあつて、今後は本取組みの内容も検討を重ねながら、育成すべき子ども像(大島っ子)を見据え、大島地区の特色ある学社融合事業を展開していきたいと思ひます。

◎事業目的

- ・子どもは、高齢者と関わることで高齢者の考え方や行動など色々なことを学ぶことができ、子ども自身も高齢者介護のやり方などを学ぶことができる。
- ・大島村は、高齢者の単独世帯が多いため、子どもたちと触れ合うことにより生きがいを持った生活を送ることができる。

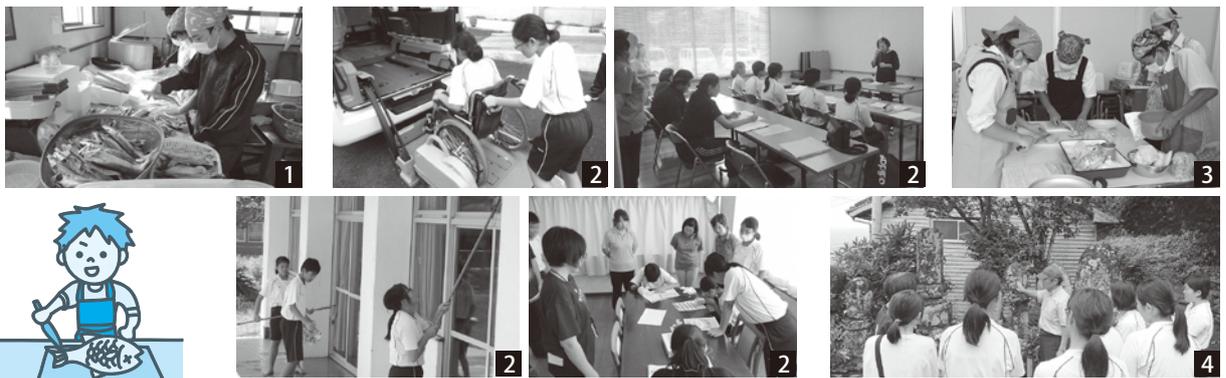
- ・障がい者に対する思いやりの心が育ち、障がい者への対応を学ぶことができる。
- ・大島村の伝統や歴史を学ぶことができる。
- ・大島村の産業である水産業や農業の体験を学ぶことができる。
- ・読み聞かせにより読書に関心を持つことを学ぶことができる。

◎主な取り組み(令和元年度)

【小学校】 ① 大島音頭指導(踊り指導、第3回大島村ふれあい運動会披露) ② 体験農園(芋植え・芋ほり・畑の管理指導) ③ ホームメイドクラブ(のべ団子、ばら寿司、ねりくりなどの調理) ④ チャレンジクラブ(水鉄砲づくり・凧づくり) ⑤ スポーツクラブ(ゲートボール指導) ⑥ 海の子常会(魚の捌き方・すり身揚げの作り方) ⑦ 読み聞かせ(読書指導) ⑧ 伝統芸能(大根坂流儀指導)



【中学校】 ① 水産教室(魚の捌き方・カマスの加工・すり身揚げ・郷土料理指導) ② ボランティア(車椅子体験・手話講座・保育所の清掃活動・高齢者疑似体験) ③ 郷土料理(かから団子、押し寿司、のっぺい汁などの調理) ④ 歴史探訪(大島の史跡巡り・歴史講座)



平戸を
知ろう!

史跡「平戸和蘭商館跡」(国指定史跡)

大正11(1922)年10月12日、「平戸和蘭商館跡」として国の史跡に指定

平戸オランダ商館は、旧平戸藩の城下町である平戸島北部の平戸港西部にありました。平戸は古くから海外交通の重要な場所として知られていますが、その中でも平戸港は、中世以降、平戸松浦氏の拠点として機能し、戦国時代には中国人海商(王直)の拠点が置かれ、やがて1550年から十数年間、ポルトガル船の寄港地として栄えました。

そうした中、平戸オランダ商館は、オランダ東インド会社が徳川幕府の許可を受けて1609年に設立した東アジアにおける貿易拠点で、オランダ商館長日記などの記述によると、当初は土蔵の付属した住宅1軒を借りて始まり、施設の拡大整備をしながら、1641年に長崎出島への移転が命じられるまでの33年間、日蘭交流の拠点として存続しました。1630年代後半、貿易額が飛躍的に増大していき、商館は膨大な量の商品を保管するために大型の倉庫の建設に着手します。1639年に建設された倉庫は、日本では類を見ない巨大な洋風の石造りの倉庫であり、当時の日

本人の目にはこの倉庫の外観がかなり奇異なものであったことが当時の記録からうかがえます。

史跡地はオランダ堀から海岸部に至る約10,000㎡が指定されており、当時からの遺構として、オランダ堀、オランダ井戸、オランダ埠頭、常灯鼻石垣しょうとうのはななどが残されています。また、1987年から開始された発掘調査により、商館と町屋との境界堀・1610年以前の海岸線・1610年代の商館敷地拡充の地業・1637年築造倉庫の基礎構造・1639年築造倉庫の基礎構造など多くの成果が明らかにされています。その史跡地内の一角に、オランダ商館最大の建造物である「1639年築造石造倉庫」が復元されています。

オランダ商館は、当初貿易活動よりも、むしろ、当時東南アジアで覇権を争っていたイベリア勢力に対抗するため、食料や武器類などを調達する拠点としての機能が強いものでした。ただし、そうした方向性は徳川幕府の対外政策になじむものではなく、幾度かの事件を経て、日本との関係を交易重視に転換しました。その結果、1630年代に入ってから交易額は年々右肩上がり増加していきます。ただし、交易額の増加は単に平戸オランダ商館単独の事情だけによるものではなく、幕府の対外政策、いわゆる鎖国政策の進展と非常に密接な関連を持つものでした。

そのような意味からも、平戸オランダ商館は、鎖国以前の日本の海外交流史を検証する上で、重要な存在であるといえます。



平戸和蘭商館跡遺構配置図



オランダ埠頭



オランダ井戸



オランダ堀

2月は「生涯学習強調月間」です



平戸市では、2月を「生涯学習強調月間」と定め、市民の皆さんの生涯学習を推進・応援しています。

「生涯学習」とは？

生涯学習とは、人々が一生の間に行うあらゆる学習のことを指します。趣味を学んだり、個人や地域が抱える暮らしの中の課題を解決するための学習や活動も、広く生涯学習に含まれます。自分自身や身の回りの生活を充実させ、学んだことを活かしてよりよい地域をつくるなど、

個人のためにも社会のためにも大切なものと言えるでしょう。生涯学習課では、みなさんが必要とする「自分の生涯学習」に出会えるよう、多くの学習の場の紹介や提供、学びやすい環境づくりを行っています。この機会にあなたも何か始めてみませんか。

生涯学習課の各種事業

※新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に休止している取組みがございます。詳細につきましては、個別にお問合せください。

生涯学習まちづくり出前講座

○講師となる市民講師、市職員が皆様の元へ出向いて講座を行います。メニューについてはホームページをチェックしてください

平戸市 まちづくり出前講座 [検索](#)

○新たな講師を随時募集しています。あなたの好きなこと、得意なことを皆さんに広めてみませんか？

ひらど市民大学

○大学と提携し、様々な分野の最新知識を提供しています。

メディア安全指導講習 (メディア安全指導員派遣)

○近年急速に普及したメディア(スマホ・インターネット)の安全な使用について、専門知識を持った「メディア安全指導員」が分かりやすくお話しします。学校以外の団体からの申し込みもお待ちしております。

Facebook「まなぶ君」



○生涯学習課や各公民館が行っている講座やイベントをリアルタイムで紹介しています。

生涯学習講演会

○市民主体で講演会の企画立案・開催ができます。(生涯学習課が市民グループに講演を委託します。)

○講演会、公民館講座、ボランティアに参加された折に所定のポイントを発行します。一定の受講を達成された方には、奨励賞(地・水・火・風・空・市長賞)をお贈りします。

生涯学習パスポート
(手帳)



ながさきファミリープログラム (ファシリテーター派遣)

○子育ての不安や悩みを、参加者同士で話し合いながら楽しく学ぶ講座です。進行役のファシリテーターが、楽しい雰囲気を作りながら、あらかじめ依頼されたテーマについての話し合いをグループワーク形式で進めます。参加者の関係づくりや課題、取組事項の共有を短時間で行うことができます。

スポーツ情報

※新型コロナウイルス感染症の状況によって中止・延期または内容が変更になる場合があります。

スポーツイベント名	日時 ※年間開催回数	場所	内容	問合せ先
ミニサッカー大会	2月20日(土) 午後～	南部市民屋内運動場	南部体育振興会主催のミニサッカー大会です。小学生～一般の部門で開催されます。	南部公民館 ☎22-9191

公民館等講座情報

※新型コロナウイルス感染症の状況によって中止・延期または内容が変更になる場合があります。
※地区外でも参加可能な講座を掲載しています。

講座名	日時 ※年間開催回数	場所	内容	問合せ先
バウンドテニス教室	2月16日(土)、3月9日(土)、23日(土) 14:00～16:00、19:00～21:00	田平町民センター 大ホール	バウンドテニスを楽しく体験する教室です。	田平町中央公民館 ☎22-9211
公民館講座「書初め大会」	2月20日(土) 9:30～11:30	多目的研修センター 大ホール	大雪のため延期した書初め大会を開催します。書道家大石妃富美先生の「揮毫」も見られます。	南部公民館 ☎22-9191
平戸学講座「大島村神浦の伝建地区」	2月27日(土) 13:30～15:00	未来創造館	平戸市大島村神浦伝統的建造物群保存地区について解説します。	文化交流課 ☎22-9143
パソコン講座	3月2日(土)、4日(土)、9日(土)、11日(土) 19:00～21:00	平戸市ふれあいセンター	初級編「Excel(エクセル)」(予定)パソコンの基本操作から学習します。	中部公民館 ☎22-9181
男の料理教室	3月23日(土) 9:30～13:00	生月町中央公民館 3F調理室	男性の自立促進のための料理教室を実施。調理を通して食と健康について考える講座。	生月町中央公民館 ☎22-9203
ふれあい子育て講座	毎週金曜日 10:00～15:00	平戸市ふれあいセンター	子育てひろばトコトコによる乳幼児子育て講座や育児相談の場として開催。(随時参加可)	中部公民館 ☎22-9181
読み聞かせ会	毎月第4土曜日 13:30～14:30	生月町中央公民館 図書室	幼児・小学生に対する読み聞かせ	生月町中央公民館 ☎22-9203
軽体操教室	毎月第1・第3木曜日 14:00～15:00	生月町中央公民館 3Fホール	高齢者対象健康教室	生月町中央公民館 ☎22-9203

市内全小学校に“竹とんぼ”の寄贈をいただきました

「体験工房 竹とんぼ」の杉山安信さんから、市内小学校(15校)の全児童に対して“竹とんぼ”の寄贈をいただきました。

杉山さんは、拠点を構える獅子町の工房を中心に、竹とんぼや竹馬など、昔あそび体験を通して子どもたちとの交流をされるなど、精力的に活動をされています。

この度の寄贈にあたっては、杉山さんご本人

が各学校を訪問され、「物づくりや、昔あそびなどの体験は、子どもの豊かな心の発達に大きく役立つと考えており、この竹とんぼも、その一助にしてもらいたい。」とのお話をされていました。

寄贈された竹とんぼは、市内小学校の全児童に対して、学校を通じて配布されているほか、各学校にも一定数を備え付けており、今後、大切に活用させていただきます。



学びの達人

「巡り会えた移住の地で 楽しく中国語を伝えるけん！」

今回ご紹介する学びの達人は、生月町中央公民館で「中国語講座」を主宰している中浦光彦さんです。

中浦さんは、大学時代に中国語を2年間学ばれ、社会人になってから働きながら夜間に中国語教室を運営したりして勉強を続けてこられました。天安門事件後は中国語学習者が激減し教室も閉鎖され、関係も希薄となっていきました。

その後関東で仕事に邁進し定年を迎えるころ通信教育で大学を卒業し、中国吉林省に師範大学の日本語教師で赴任したものの、東日本大震災・原発事故で帰国しなければならなくなったそうです。

その後アジア・九州各地の旅を続け、最後に生月島を巡り1泊2日の旅の中で生月の人と波長が合い、縁あって2015年より山田地区に住居を見つけ住んでおられます。

そこで、ご自分が学んだ中国語を地域の方にも学んでもらおうと、2017年より～公民館で「ニイハオ」中国語で異文化体験～と



中浦 光彦さん (2015年に生月町へ移住)

題して「中国語講座」を開いておられます。「テキスト内容も生月に住む家族の日常をとりあげ、絵や模型を作り興味を持たせて楽しく学べる工夫をして、喜んで学んでもらえるように知恵を絞っている。」と研究熱心なご様子でした。

地域の活動や老人クラブ、公民館主催講座「いきいきクラブ講座」等にも積極的に参加されておられる中浦さんですが、「元気に100歳まで“中国語講座”を続けたい。」と語ってくださいました。

今後の更なるご活躍をお祈りいたします。皆さんも身近な外国語、中国語を学び、異文化と触れ合ってみませんか。老若男女誰でも、楽しく、ゆっくり、発音の基礎から学べますよ。受講生をお待ちしております。

＊日 時：毎週土曜日 10：00～12：00

＊場 所：平戸市生月町中央公民館

＊問合せ：平戸市生月町中央公民館

☎0950-22-9203



▲手作り教科書

毎月第3日曜日は「家庭の日」です

「家庭の日」とは…？

子どもの健全な成長のために最も大切な場所は家庭です。家庭は、家族の愛情に支えられ、人格の形成や生活上の基本的なルールを身につける基盤となります。

「家庭の日」とは、家族そろって団らんすることを目的に、毎月第3日曜日を「家族で食事やスポーツをしたり、地域行事に参加するなどして、家族とのつながりについて改めて

考える日」としてしています。

日常生活を送る中で、家族の大切さを忘れてしまいがちですが、改めて家族団らんの場を意識し、良さを見直すきっかけ作りとして、長崎県の他市町でも、平成13年度からはじまった「ココロねっこ運動」の取組みの一つとして「家庭の日」を推進しています。

平戸市においては…

- 平成30年度から、市の主催行事は第3日曜日を避けるように調整しています。
- 市内の各小中学校、スポーツ少年団等においても「家庭の日」はお休みすることを原則としています。



毎月第3日曜日は、
家族で過ごしましょう！

【お問い合わせ先】 平戸市教育委員会

- 生涯学習課 ☎22-9214 Fax25-1211
- 生月町中央公民館 ☎22-9203 Fax26-5017
- 田平町中央公民館 ☎22-9211 Fax57-2557
- 大島村公民館 ☎55-2511 Fax55-2987

- 北部公民館 ☎22-2418 Fax22-3151
- 中部公民館 ☎22-9181 Fax28-1236
- 南部公民館 ☎22-9191 Fax27-1255
- 平戸図書館 ☎22-4017 Fax22-3151
- 永田記念図書館 ☎22-9182 Fax28-1236



平戸推奨

— ふるさとの味 —

ひらどロマン

平戸市森林組合

平戸市宝亀町91-1
TEL 0950-28-0300

榎井元産業 しいたけ生産部

平戸市戸石川町7-1
TEL 0950-22-3104

平戸しいたけ生産組合

平戸市戸石川町7-2
TEL 0950-23-8161



生涯学習だより「まなぶ君」 令和3年2月15日発行 第51号

編集発行：平戸市教育委員会生涯学習課内生涯学習だより編集部
☎0950-22-9214 E-Mail manabu@city.hirado.lg.jp

〒859-4807 平戸市田平町里免27番地1
印刷：(有)ケンホクプリント